

# 香港株式市場フラッシュ

## 「米中対立」と「双循環」で読み解く香港株市場

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

**フィリップ証券株式会社**

2025年1月15日号(1月15日作成)

### “ハンセン・ハンセンテック指数における年間上位10銘柄“

香港ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄のうち2024年の年間騰落率(23年末~24年末)の騰落率上位10銘柄は以下の通りである。

第1位は**小米集団[シャオミ](1810 香港)**。同社の2024年スマホ世界シェアは世界3位ながら上位2社との差を縮めている。電気自動車(EV)の販売も好調であり、家電とクルマをネットで繋ぐ「コネクテッドカー」で世界でも先行している。

第2位はアルミニウム大手の**中国宏橋集団[チャイナ・ホンチャオ・グループ](1378 香港)**。EVと太陽光発電分野がアルミニウム合金への需要を拡大した恩恵を受けた。

第3位は世界最大級のオンライン旅行会社の**携程旅行網[トリップドットコムグループ](9961 香港)**。中国を中心に国内外の旅行需要の継続的な回復が追い風となった。

第4位は、フードデリバリーを中心とした生活関連アプリ運営大手の**美团[メイトゥアン](3690 香港)**。粗利益率の改善が示された。

第5位は、民営自動車メーカー大手の**吉利汽車控股[ジーリー・オートモービル](175 香港)**。ガソリン車とEVのバランスが取れた開発戦略、海外市場開拓が奏功した。

第6位は総合通信キャリアの**中国聯通[チャイナ・ユニコム](762 香港)**。低周波数帯の5G基地局利用拡大のほか積極的な増配など株主還元強化が好感された。

第7位は中国本土最大の半導体ファウンドリの**中芯国際集成電路製造[SMIC](981 香港)**。米国による中国への半導体輸出規制が強化されるとの発表により、中国国内メーカーへの依存度を高めるとの期待が高まった。

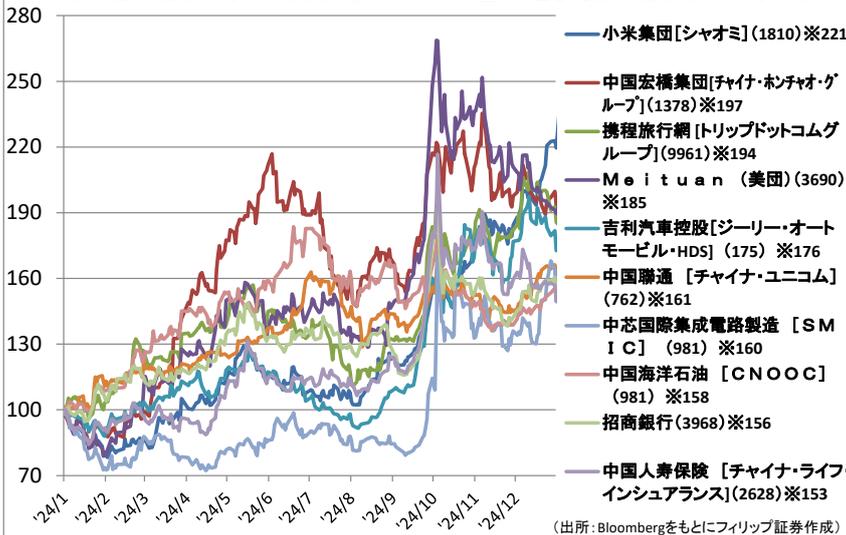
第8位は海底油田の探査・開発、原油と天然ガスの生産・販売を手掛ける**中国海洋石油[CNOOC](883 香港)**。生産量の伸びとコスト低下が業績を牽引した。

第9位は総資産で中国7位の**招商銀行(3968 香港)**、第10位は中国最大の生命保険会社の**中国人寿保険[チャイナ・ライフ・インシュアランス](2628 香港)**だった。

### “キーワードは「米中対立」と「双循環」“

香港・中国株は2024年9月下旬より、金融緩和、株価対策、不動産対策など中国当局の相次ぐ発表を受けて歴史的株高局面に転じた。2025年は、1/20のトランプ次期大統領就任後の第二次米トランプ政権下でも貿易関税や半導体・医薬品などの輸出規制強化といった中国経済への逆風が想定される。それでも、中芯国際集成電路製造の株価が昨年9月下旬以降に大幅上昇した様に、米中対立の負の側面だけでなく中国国内企業への需要拡大といった正の側面を重視するようになったのは大きな変化だろう。また、中国政府が国内大循環を主体として、国内外の双循環が互いに促進する経済の新発展モデルを目指す中で、内需関連銘柄が2025年も引き続き躍進することも期待される。

(相対指数) **香港ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄のうち2024年の年間騰落率上位10銘柄の日次終値推移(2023年末を100とした相対指数。2024年末まで)**



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄 (全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率 ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄 (全96銘柄 ※9月12日より)

順位	2023年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前位	
1	小米集団[シャオミ]	121.2	1
2	中国宏橋集団[チャイナ・ホンチャオ・グループ]	97.6	4
3	携程旅行網[トリップドットコムグループ]	94.5	2
4	Meituan (米国)	85.2	3
5	吉利汽車控股[ジーリー・オートモービル・HDS]	76.7	5
6	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	60.8	6
7	中芯国際集成電路製造 [SMIC]	60.1	12
8	中国海洋石油 [CNOOC]	57.9	10
9	招商銀行	56.2	9
10	中国人寿保険 [チャイナ・ライフ・インシュアランス]	53.3	8

順位	2023年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前位	
96	蔚来汽車[ニオ]	-52.7	96
95	Budweiser Brewing Co APAC Lt	-46.8	95
94	藥明生物技術[ウーシー・バイオリジクス・ケイマン]	-40.7	94
93	周大福珠寶集團[チャウタイフックジュエリーグループ]	-37.8	93
92	恒隆地産 [ハンロン・プロパティーズ]	-37.2	92
91	理想汽車	-34.0	91
90	East Buy Holding Ltd	-31.0	90
89	ZhongAn Online P&C Insurance	-28.8	89
88	石業集團 (CPSC Pharmaceutical Group)	-28.1	88
87	百度[バイドゥ]	-27.1	85

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2025年1月: 中国主要経済指標】

- 12月27日(土)
  - ・1-11月工業利益<前年同月比>: 前回▲4.3%、結果▲4.7%
- 12月31日(火)
  - ・12月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.3、結果50.1
  - ・12月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.0、結果52.2
- 1月2日(木)
  - ・12月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.5、結果50.5
- 1月6日(月)
  - ・12月(財新)サービス部門PMI: 前回51.5、結果52.2
- 1月7日(火)
  - ・12月外貨準備高: 前回3.26兆USD、結果3.20兆USD
- 1月9日(木)
  - ・12月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.2%、結果+0.1%
  - ・12月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲2.5%、結果▲2.3%
- 1月13日(月)
  - ・12月貿易収支: 前回+974億USD、結果+1048億USD
  - ・12月輸出<前年同月比>: 前回+6.7%、結果+10.7%
  - ・12月輸入<前年同月比>: 前回▲2.5%、結果▲2.3%
- 1月14日(火)
  - ・12月資金調達総額: 前回29.40兆元、結果32.26兆元
  - ・12月新規人民元建て融資: 前回17.10兆元、結果18.09兆元
  - ・12月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+7.1%、結果+7.3%
- 1月17日(金)
  - ・4Q(10-12月)GDP<前年同期比>: 前回+4.6%
  - ・12月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.0%
  - ・12月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.4%
  - ・1-12月不動産投資<前年同月比>: 前回▲10.4%
  - ・1-12月固定資産投資<前年同月比>: 前回+3.3%
  - ・12月新築住宅価格<前年同月比>: 前回▲0.20%
  - ・12月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲20.0%
  - ・12月調査失業率<前年同月比>: 前回5.0%
- 1月20日(月)
  - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.10%
  - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.60%
- 1月27日(月)
  - ・1年中期貸出ファシリティ金利: 前回2.0%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

**【レポートにおける免責・注意事項】**

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。